



JR指宿枕崎線 宇宿駅下車、宇宿小前からシャトルバスで、大学病院前まで
市電 脇田電停下車 18番線 シャトルバスで 大学病院前まで
市バス 18番線 大学病院前下車
鹿児島交通 14番線、17番線、19番線 大学病院前下車

鹿児島大学病院 がん遺伝子診断外来
腫瘍センター がんゲノム医療部門

〒890-8520 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8-35-1
 TEL.099-275-5111(代表) TEL.099-275-5731

がん遺伝子検査についてのお問合せ・相談はこちら
 鹿児島大学病院 地域医療連携センター・がん相談支援センター

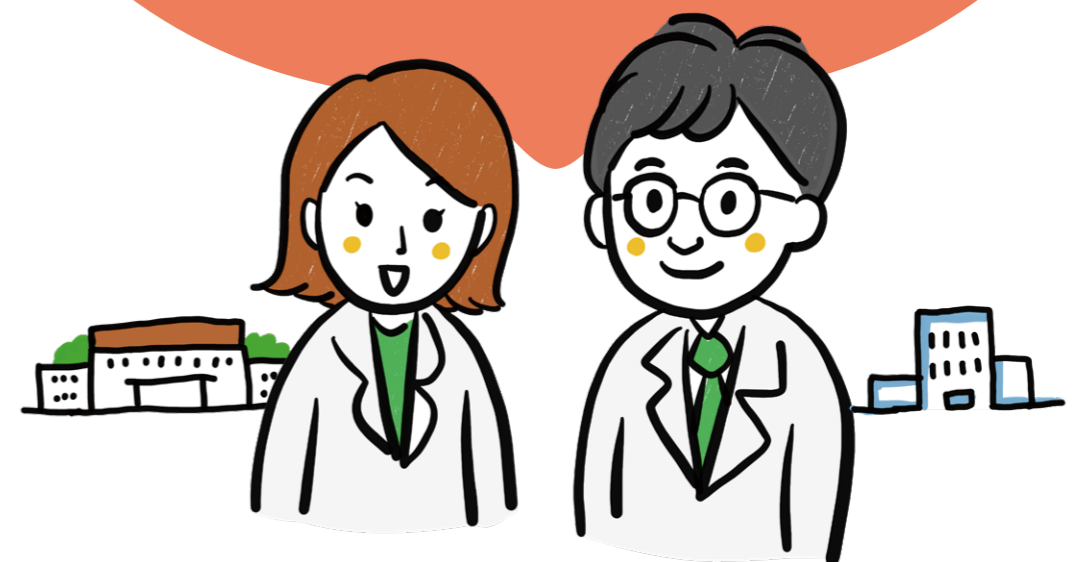
TEL.099-275-5970
 (平日9時~17時)

がんと診断された方へ



当院では、
がん遺伝子
パネル検査を
実施しています。

組織を採取して行った検査により
 悪性腫瘍(がん、肉腫など)と
 判断された方



鹿児島大学病院 がん遺伝子診断外来

がんと診断された方へ

組織を採取して行った検査により悪性腫瘍（がん、肉腫など）と判断された方

当院では、
「がん遺伝子パネル検査」を
実施しています。



この検査でわかること

患者さんそれぞれの
「がんの個性」がわかります。
治療効果が期待できる国内で
承認済みの抗がん剤や
治験薬の情報が
得られます。



当院で実施している 「がん遺伝子パネル検査」

保険診療

- NCCオンコパネル検査
- FoundationOne® CDx がんゲノム
プロファイル検査
- FoundationOne® Liquid CDx
がんゲノムプロファイル検査
- GenMineTOPがんゲノム
プロファイリング検査
- Guardant360がん遺伝子パネル検査

※1 本検査を利用しても、あなたのがんの診断や治療に有用な情報が得られない可能性もあります。

※2 本検査は治療効果が期待できる治療薬の情報を提供しますが、その治療薬の治療効果を保証するものではありません。

※3 本検査であなたのがん細胞に起こっている遺伝子変異に対して効果が期待される薬剤が見つかったとしても、あなたのがんに承認されていない場合、薬剤の入手ができない、あるいは投与ができない可能性もあります。

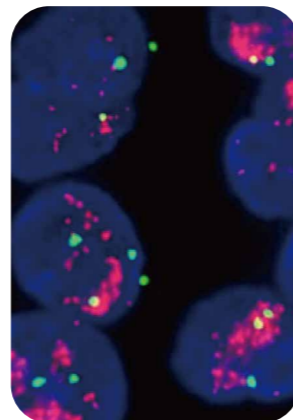
がんゲノム医療とは？

がん遺伝子が作る異常なタンパク質のみを狙い撃ちする抗がん薬（分子標的治療薬と呼ばれる）は、従来の抗がん剤治療を根底から変えました。

現在、遺伝子を解析することは、既に一部のがんの診断と治療に必要なものになっています。

多くのがんは、多数の遺伝子異常が関与していることがわかっており、その遺伝子1つ1つを調べては正確な診断と治療に辿り着くには時間がかかります。

100以上の治療に関連するがん遺伝子を網羅的に調べ、個別に最も適した抗がん剤の情報を提供するのが「がん遺伝子パネル検査」による「がんゲノム医療」です。



重要

本検査を受ける際の注意点

1. 本検査を利用しても、あなたのがんの診断や治療に有用な情報が得られない可能性があります。
2. 治療効果が期待できる治療薬の情報を提供しますが、その治療薬の治療効果を保証するものではありません。

本検査であなたのがん細胞で起こっている遺伝子変異に対して効果が期待される薬剤が見つかったとしても、あなたのがんに承認されていない*場合、薬剤の入手ができない、あるいは投与ができない可能性があります。また、治療費は自己負担となります。
- 3.

* 保険診療で使えない薬剤または他のがんや病気では保険診療で使えるが、あなたのがんでは使えない薬剤を指します。

検査を受けることで役立つこと

患者さんの
がん細胞に見られる
遺伝子の異常が明らかとなり、
がんの個性がわかります。

治療効果が期待できる
国内で承認済みの
治療薬の情報が
得られます。

治療効果が期待できる
国内で臨床試験（治験等）中の
治療薬の情報が
得られます。

治療効果が期待できる
国内未承認、海外で承認済み
あるいは臨床試験（治験等）の
治療薬の情報が得られます。

- 標準治療がない(原発不明がんや希少がん)固形がんの患者さん
- 標準治療が行われているが十分な効果が得られず治療が終了見込み(もしくは終了した)患者さん
- 新しい治療を受ける体力がある患者さん

〈 検査の種類 〉

病理組織検体(がん組織)のみで行う検査

病理組織検体は、手術または生検の検体で原則3年以内

- FoundationOne®CDxがんゲノムプロファイル検査

病理組織検体(がん組織)+血液検体で行う検査

病理組織検体は、手術または生検の検体で原則3年以内

- NCCオンコパネル検査
- GenMineTOPがんゲノムプロファイリング検査

血液検体のみで行う検査

- FoundationOne®Liquid CDxがんゲノムプロファイル検査
- Guardant360 CDxがん遺伝子パネル検査

※病理組織検体(がん組織)が採取できない、もしくは古くて検査には適していない場合

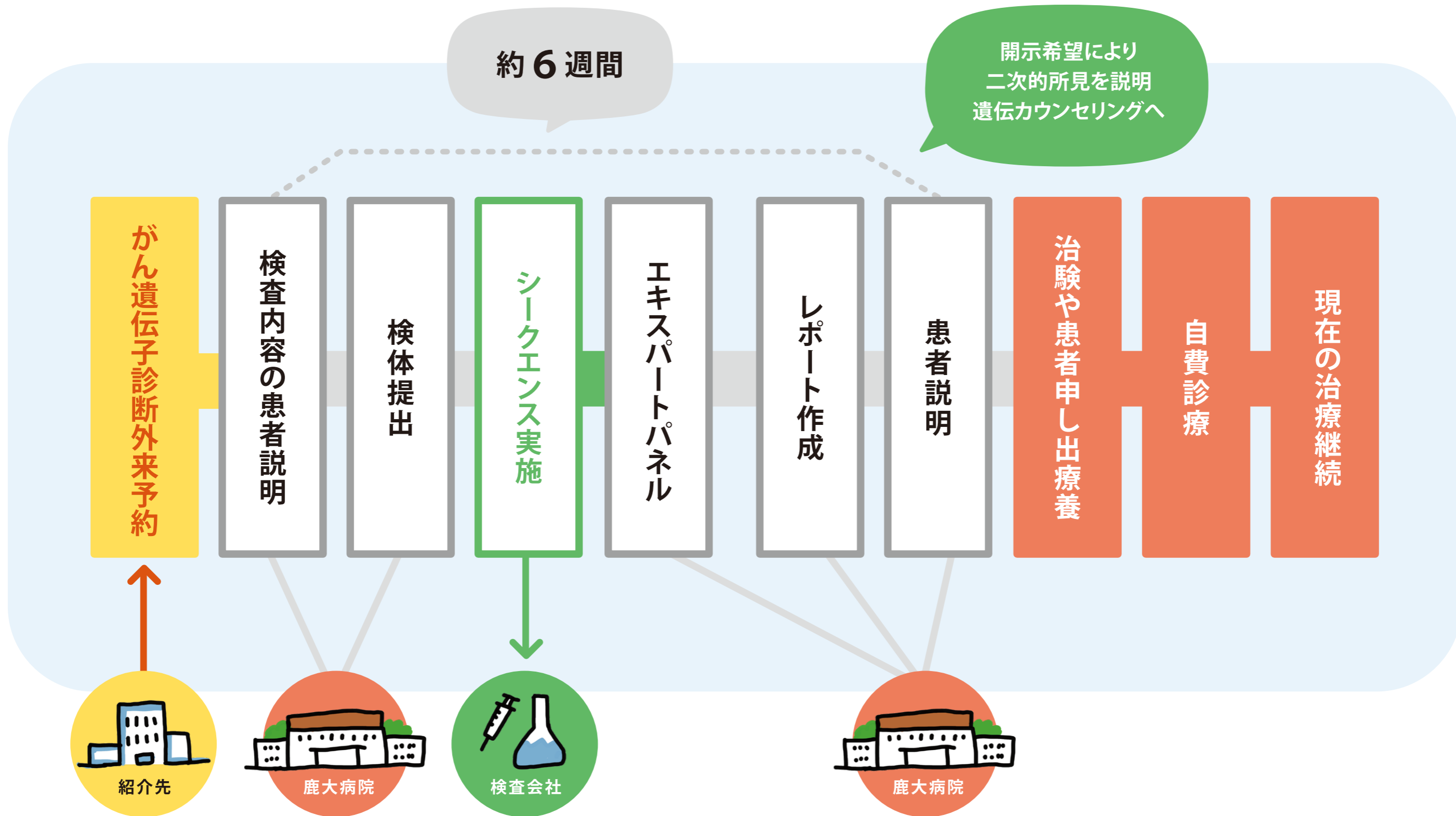
※病理組織検体を用いた検査を受けたが、検査が不成立となった場合

	Foundation OneCDx がんゲノム プロファイル	NCC オンコパネル	GenMine TOP がんゲノム プロファイリング	FoundationOne Liquid CDxがんゲノム プロファイル	Guardant360 CDx がん遺伝子パネル
検査対象 遺伝子数	324	124	737DNA / 455RNA	324	74
病理検体の 必要性	○	○	○	×	×
採血の 必要性	×	○	○	○	○
検査期間 (最短)	約 6 週間				
検査費用	560,000円 (1割負担:56,000円、2割負担:112,000円、3割負担:168,000円) ※詳細はQ&A参照				

※検査費用は検査提出時と検査結果説明時の2回に分けて請求いたします。

※高額療養費制度により、費用負担は少なくなります。

がん遺伝子検査の流れ



予約から遺伝子解析結果報告までの流れ



1. 相談・予約

- 現在通院中の担当医へがん遺伝子検査について相談をし、病院を介して「がん遺伝子診断外来」の予約を取ります。
- 現在通院中の病院にて、診療情報提供書、病理検体、遺伝子パネル検査依頼書、病理組織報告書を準備してください。(郵送もしくは当日患者持参可能)

※病理検体は提出方法が決まっていますので必ずご確認ください。

2. 外来受診 (1回目)

- がん遺伝子検査についての説明を受け、検査同意書に署名をします。
- NCC オンコパネル検査・FoundationOne Liquid CDx がんゲノムプロファイル検査・GenMineTOP がんゲノムプロファイル検査・Guardant360 がん遺伝子パネル検査、いずれかの検査を受ける場合には、がん遺伝子検査用の採血を行います。

3. 検査

- お預かりした病理検体は、病理部で評価し、がん遺伝子検査に適しているかどうか判断します。
- 検査会社に検体を発送し、がん遺伝子検査が行われます。

※病理検体、血液検体ともに検体量の不足や質に問題がある場合には検査不成立となる場合がありますが再提出可能です。病理検体の場合は、再生検が必要となる事もありますが、再生検が困難な場合には血液検体で検査を受けることができます。

4. エキスパート パネル開催

- 遺伝子解析結果が当院に返送されてきたら、がん専門医で残された標準治療の適合性や有効な薬剤情報、治験や臨床試験状況などの話し合いをします。

5. 外来受診 (2回目)

- 約6週間後に再診(検査結果説明)となります。
- がん遺伝子検査の結果及びそれに基づく薬剤情報、治験や臨床試験状況について説明します。
- 検査の結果や得られた薬剤情報は、現在通院中の主治医にも報告します。
- 二次的所見が見つかった場合には、必要に応じて遺伝カウンセリングのご案内をさせていただきます。

※二次的所見とは、本来の検査の目的は、がんの個別化治療のための「一次的所見」を見つけることですが、本来の目的とは別に、がんになりやすい遺伝子を有している事がわかる場合があります。これを「二次的所見」といいます。

Q & A



Q がん遺伝子パネル検査とは何ですか？

A 患者さんのがん組織から核酸（DNA）を取り出し、がんの発生に関わる複数の「がん関連遺伝子」の変異があるかどうかを一度にまとめて調べる検査です。
検査の対象となる遺伝子のセットのことを「パネル」と呼びパネルには通常、100種類以上の遺伝子が含まれます。



Q 検査を受けるにはどうしたら良いですか？

A まずは現在通院中の担当医へ「がん遺伝子診断外来」受診を希望することをお伝えください。
その後、担当医を介して当院の「がん遺伝子診断外来」の予約をとっていただきます。※患者様からの直接の予約は受けできません。



Q 検査はいつでも受けられますか？

A 毎週月・木曜日の午後に外来を行っております。



Q 検査の対象となるのはどんな方ですか？

A 保険診療で行う検査の場合は、局所の状態や転移により切除不能な進行がんが対象です。そのうち、発症頻度も高く標準治療が決まっているがん種の場合には、その標準治療が終了している方が対象となります。希少がんのように発症頻度の低いがん種で標準治療がない場合には、治療開始時に検査を受けることが可能です。



Q 何を使って検査をするのですか？

A 過去に行った手術や生検で採取した組織もしくは採血で採った血液を使用します。



Q 検査結果に基づいた治療を受けられる割合はどのくらいですか？

A 当院での検査結果では、これまでに検査を受けた患者さんのうち約8割の方が、がんの原因となる遺伝子が見つかっています。また、3～4割の方が、薬物療法に関する何らかの情報が見つかります。しかしながら、候補となる薬剤がまだ開発・治験中の場合や日本では入手困難な場合もあり、現段階で遺伝子異常に基づく実際の薬物療法が可能だったのは1割強の患者さんです。



Q がん遺伝子検査の相談のみもできますか？

A 検査に関するご相談や検査説明のみも可能です。
その際には、がん遺伝子検査相談料として35,648円が必要となります。



Q 保険費用の患者負担割合はどのくらいですか？

A 検査費用は56万円で、初診時と再診時の2回に分けて請求させていただきます。初診時に44万円（1割：4万4千円・2割：8万8千円・3割：13万2千円）、再診時に12万円（1割：1万2千円・2割：2万4千円・3割：3万6千円）となります。
また、高額療養費制度の対象となるため、費用負担は少なくなります。詳細は病院窓口にお尋ねください。



Q 家族のみの受診は可能ですか？

A 患者さんご本人の受診が必要となります。

